

宮代地区まち協通信

第87号

発行日 令和 3年3月1日

2021年



南宮大社の「丑」

かたくりの花

可児市 鳩吹山

撮影：福本莞さん

種から7年目でようやく花咲く、春を告げる山の妖精。早春の山を最初に彩る花の1つがかたくりだ。赤紫の花びらを下向きに大きく広げながら咲く姿は多くの登山者から愛されている。その名の通り片栗粉が取れる植物としても知られている。



宮代 凧あげ大会

健康体育部（体育推進員） 子安 正樹

目次

- 《宮代凧あげ大会》
- 行事予定 (3月度)
- 《峯地区自治会 自主防災隊 発足》
- 活動報告 《1月-2月の活動》
- 文芸の広場 中山社 北野俳句会
- 関ヶ原合戦(終章) おわりに
- 編集後記

1月

31日(日)に凧あげ大会を開催しました。昨年からの新型コロナウイルス感染症防止の為、体育推進委員会の事業は、全て中止となりました。三密に注意し何か出来ないかと、役員で意見を出し合い提案し、凧あげ大会となりました。

小学校の先生の協力により親子募集を行い、54名の参加者がありました。緊急事態宣言の中です。マスクの着用、消毒、体温測定と三密の回避を徹底して開催しました。

当日は前々日の雪で、グラウンド状態が悪く外での凧あげは取りやめ、体育館で、白い凧に、描きたい絵をクレヨンで書いてもらいました。

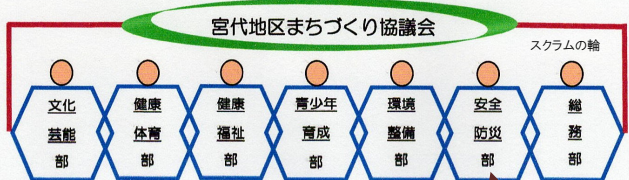
親子で何を描くかを相談して、今はやりの絵、可愛い絵、色取りの良い絵

などが、とても上手に描かれていました。絵を描き終えて、体育館内で凧の試しあげが始まりました。走り始めた子ども達は、凧が上がって楽しくなり、いつまでも走り回っていました。

グラウンドで凧あげが出来なかったことは残念ですが、子ども達の元気な笑顔が見れて良かったです。

先生と保護者の皆様の協力により開催出来たことに感謝します。

今後も凧あげ大会を続けて行こうと思います。



No.6 安全防災部のまちづくり

《だれもが安心して暮らせるまち》
災害や犯罪が未然に防止できる備え
笑顔が満ち・交わされる地域社会の
協働整備のまちづくり

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	5日,19日 18:30~20:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	絵手紙教室	7日,21日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
3	シニアはつらつ教室（健康運動講座）	8日 13:00~15:10	月	まちセン 大会議室	会員募集中
4	千之子ども「歴史教室」	12日 9:00~12:00	金	宮代地内	史跡を巡る 小学校6年生
5	R3年度連合自治会特別総会	7日 10:00~11:00	日	まちセン 大会議室	

峯地区自治会自主防災隊 発足！

はじめに

令和3年度「峯地区自治会自主防災隊」の発足に向け、峯地区では、大峯・堅瀬古・横瀬古3つの自治会長がリーダーシップを発揮し、地域の安全と安心を守る自主防災隊を組織することになりました。

1 組織の立ち上げについて

この組織を立ち上げるために、各瀬古から自治会長経験者等を中心に専任役員を各2名選出し、合計9名で準備委員会を昨年8月に立ち上げました。垂井町には、136の自治会があります。その中で自主防災隊が組織されていない地区の一つに峯地区があります。今年度は、是非とも組織を立ち上げ、高齢化社会・少子化の中、互いが助け合って生活できる地域づくりを推進していくために組織を立ち上げました。

2 防災隊の目的（規約より）

『防災隊は、災害対策基本法及び垂井町地域防災計画の規定により自主的な防災活動を行い、地震、風害、水害、火災等による災害による被害の防止及び軽減を図るを目的とする。』

基本は、「自らの命は自ら守る」ことです。その中でも少しでも災害等を軽減すると共に互いに助け合う「共助」の精神で地域の安心・安全を守っていくことが必要であると考えました。

日頃の一人一人の防災意識や準備が大切になります。勿論、組織を立ち上げたから災害を防げるわけではありません。



3 目的を達成するために（規約抜粋より）

『次の班を置き、任務を分担する。ただし、状況によってその任務に関わらず活動する。※班編制：「情報班」「消防・水防班」「救出・救護班」「避難誘導班」「給食・給水班」を置く』

以上の5つの班を設置し、事前の啓発、訓練、災害時の対応などに対応できる組織としました。また、防災隊の役員だけでは数が限られています。各班長、自治会員、他団体等の協力によって成り立っていくものです。あってはならないことですが、もし災害が起きたときは、会員一人一人の協力と迅速な行動をお願いいたします。

4 今後の課題について

今後は、ハード面の準備が必要になります。実際の活動や資材等の準備、防災倉庫の設置など課題は山積しています。自治会員の皆さまからよりよい意見を出し合いながら充実した防災隊にしたいと思えます。



おわりに

この組織は、令和3年4月1日を発足予定として今準備をしています。先般、峯地区自治会員の全世帯に発足の承認を得るため各班の回覧を通し、承認確認をいたしました。全世帯の82.3%の賛同を得たことは、誠に心強く思います。これからの防災活動にご理解とご協力をお願いします。 《記：準備委員会》



12/20

全体
会議

活動報告



1/21~2/20

ふれあひこころ築こづ
明るく住みよいまちへ
宮代地区まちづくり協議会



宮代凧あげ大会 小学校体育館 (1/31)



小学校 ふれあい授業 和楽器を学ぶ (2/17)



不破中地区役員会(2/7)



レインローズ自治会総会(1/31)



宮代長寿会会長・副会長会議(2/13)



峯地区自主防災隊準備委員会 (1/23)



(防災)黄色いタスキ包装 (1/22)



宮代観光案内所建設安全祈願祭(2/8)



南宮大社 大の神事 (2/3)



北野神社歩射祭(1/24)



愛宕神社歩射祭(2/11)

宮代伝統の句会、身を地に託し
その心を言葉の華と咲かせて
届けて下さる人がいます……

＊まなじりを 下げし野佛 春隣

川瀬 慶泉

＊大絵馬の ひき寄す彩や 春光が
清水 り

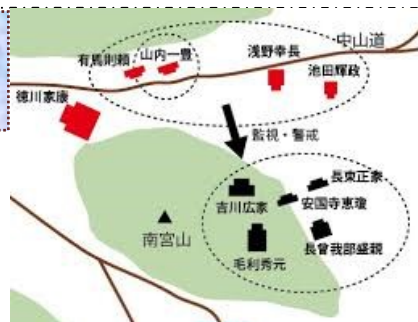


＊ひとりごと 小さく梅の 花二輪
傍島 法苑

＊学校の 廊下にそまる 冬の色
中嶋 結映

関ヶ原合戦 南宮山とその周辺の陣跡

【終章】 おわりに まち協 総務部



南宮山周辺の布陣図

慶長

5年（1600年）九月十五日（現在の暦10月21日）の関ヶ原の戦いは、東軍の圧勝で終わった。「天下分け目の合戦」といわれ、日本を二分する勢力がぶつかり合った戦国時代最大の合戦が、午前八時頃には始まり、僅か六時間後の午後二時過ぎにはほぼ決着がつくという、誰もが予想だにしない展開となった。

この最大の要因にあげられるのが「小早川秀秋の寝返り」であるといわれている。「歴史にIF（もしも）は無い」といわれるが、「もし小早川の寝返りがなければ・・・そして西軍が勝っていたら、その後の日本はどのようになっていたか」とよく議論される。

しかし、ここでもう一步踏み込んで考えてみたいのが、「秀秋が寝返っても、南宮山に布陣した毛利秀元・吉川広家・長宗我部盛親ら約三万の西軍が、徳川家康本陣の背後に襲いかかっていたら」ということである。そのように考えたとき、『南宮山の西軍の傍観』も東軍・家康勝利のキーポイントであったといえるのではないか。

このように考えてみたとき、『我が郷土・南宮山』の関ヶ原合戦での役割は非常に大きいものであったに違いない。

ともあれ、東軍が勝利し1603年江戸幕府が開かれ、幕藩体制が確立し明治維新まで265年にわたり、「太平の世」が実現したことは「関ヶ原合戦の大いなる意義」であったといえるのではないか。

「南宮山とその周辺の陣跡」のタイトルで九回掲載させていただきましたが、今回で最終と致します。短い期間でありましたがお付き合いいただき有り難うございました。（終）



家康



三成

3月・4月の休館日
3月 2日(火)、9日(火)
16日(火)、23日(火)、30日(火)
4月 6日(火)、13日(火)
20日(火)、27日(火)

編集後記：★2月13日、福島県沖で発生したマグニチュード7.3の地震では福島県と宮城県で最大震度6強の激しい揺れが観測されています。巨大地震の影響は今後も長期間に渡って続くとされています。★垂井町は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定され、全町域が最大震度6強、一部7が予想されています。★峯地区自治会から自主防災隊発足の報告を頂き掲載しました。地区の安全・安心が一步前進しました。★3月11日は東日本大震災から10年目になります。被災者は「防災は自分ごと。平時から考えて欲しい」と語っています。日頃の防災活動が大切です。

編集・発行
〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010
宮代地区まちづくり協議会 西川 一明
E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



紙面充実に皆さまのご意見をお寄せ下さい

宮代の冬景色の特徴 雪の季節来迎し